

DanRyu VOL. 4

2022

2022年度テーマ

CHALLENGE!!
OKAYAMA

若者らしい感覚を信じて、
新しい風を吹かせてほしい
一年間の振り返り・報告
DXセミナーレポート
DX事例紹介
2022年度 活動報告



Special Talk

若者らしい感覚を信じて、
新しい風を吹かせてほしい

中西圭三

シンガーソングライター



石井聖至

公益社団法人 岡山青年会議所 第72代理事長

暖流

CONTENTS

Special Talk 若者らしい感覚を信じて、 新しい風を吹かせてほしい 中西圭三さんと石井聖至理事長の意見交換	01	DX事例紹介	07
一年間の振り返り・報告	04	1.「お客様へ安心安全を提供するDX」 杉岡建設株式会社 2.「DXの活用により営業を効率化。 お客様の負担軽減に取り組んでいます。」 株式会社アラタス ARA+ONLINE	
DXセミナーレポート これからの企業成長に欠かせない「DX」について学べる機会!	06	2022年度 活動報告	08
		1.キッズスペースパーク 2.LGBTQセミナー 3.「首都岡山 東京首都一極集中の打開策」 4.わくわくファーム2022 5.まちなか屋上サウナ	



Special Talk

若者らしい感覚を信じて、新しい風を吹かせてほしい

石井聖至 × 中西圭三

公益社団法人 岡山青年会議所 第72代理事長

シンガーソングライター

暖流

公益社団法人岡山青年会議所

Since 1951

2022年【暖流】発行にあたって

公益社団法人岡山青年会議所の広報誌「暖流」をご覧いただきありがとうございます。

青年会議所「JC」は20歳から40歳までの青年経済人たちが、地域経済の活性化や地域の課題解決に取り組み「ひとづくり」や「まちづくり」を行っている団体です。

JCは日本全国で694団体あります。中でも、岡山青年会議所は全国でも9番目に早い1951年に設立され、今年で72年目を迎えます。

年の瀬も迫り、本年度も残りわずかとなりました。2022年を振り返ってみますと、大きな分岐点となった一年であったと感じられます。国家間の対立激化、急激な円安に伴う物価の上昇、日本を震撼させた政治家を狙った事件など、社会情勢や我々の生活に大きな影響を及ぼす多くの物事が起きました。また依然として新型コロナウイルスが猛威を振るい、私達は新しい生活スタイルを取り入れることを余儀なくされています。

そのように経済や秩序のバランスが崩れ不安定になる中、私たち岡山青年会議所は郷土岡山の経済的発展を支えるべく邁進してまいりました。本年度掲げさせていただいたスローガン「CHALLENGE!! OKAYAMA」のもと、変化を怖れずに挑戦していくことで多くの対外事業を打ち出し、岡山のまちづくりと秩序の回復に努めました。経済活動の支援はもちろんのこと、薄れゆく道徳心を喚起・向上させる事業を数多く展開いたしました。子供のみならず大人にも、国を愛し、隣人を大切にする思いやりの心を取り戻して欲しいという願いからです。「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である」の言葉の通り、「経済」と「道徳」どちらか一方だけでは社会は成り立ちません。経済と道徳のバランスを保つことで、岡山ひいては日本を取り巻く難事を解決できる原動力となるのです。

本年度実施した事業は岡山青年会議所単体では成し得ないものばかりでした。いずれも成功裏に終えることが出来たのはひとえに郷土岡山を良くしたいという市民の皆様「思いやり」の心、ご協力を賜りました行政他各団体の皆様、ご協賛頂きました企業の皆様のご多大なるご支援のおかげでございます。この場を借りて御礼申し上げます。

新年の足音が間近となり何かと慌ただしい時期となりましたが、今後とも岡山青年会議所、そして我々の活動に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 第72代理事長

石井聖至

CHALLENGE!!

OKAYAMA



特別 対談

岡山を代表する
シンガーソングライター中西圭三さんと、
音楽シーンの現在や、岡山青年会議所に
期待することなどについて、意見を交わしました。

石井聖至(以下、石井) まず中西圭三さんと、岡山市が政令指定都市移行後の2012年に、6月1日を「市民の日」と定めたことを記念し、市民愛唱歌として「絆I-KIZUNA」を制作する事業で一緒にさせていただきました。その節は大変ありがとうございました。

中西圭三(以下、中西) 子どものころから、とにかく歌うことが好きだったので、歌を歌い続けられたらいいなという漠然とした夢を持っていました。その夢が学生の時に膨らんでいき、親に頼んで東京の大学に出させてもらったのですが、当時はバブル真っただ中で、周囲の就職活動の波にのまれるように、私も内定をもらってしまいました。それで親も安心してくださるだろうと思って電話したら、「音楽をやりたい」と言ったら東京に出たのに、気持ちに嘘をついているんじゃないかと言われてしまっただけです。

周りのムードに飲み込まれて内定をもらい、就職することが本場に正しいのか、もう一度自分に問いただしてみて、内定を取り消してもらいました。

すると、その一週間後、既にデビューされていた池田聡さんにツアアのコーラスをやらないうかが、声をかけてもらえたんです。そうしてツアーを回るなかでプロデューサーにも出会って、「曲がたまったらデビューさせる」というニンジンをぶら下げられながら、寺子屋のように教わりながら一生懸命曲を作り続けていましたね。

石井 中西さんに内定を取り消させたお言葉も素敵ですし、池田聡さんやプロデューサーの方も才能を感じられていたのではうね。

期待することがありますでしょうか。またメディアと青年経済人との協力を模索しています。そのアイデアがありましたら教えてください。

中西 そうですね。若い人たちは僕たちの時代にはない、膨大な情報収集ができる時代に育ってきて、そこで培ってきた感覚というのは、これまでに無かったものだと思います。音楽の世界でも藤井風くんのような人が、新たな時代と共に出てきたりしていますね。

まさにそういった風を若い人たちが吹かせるんだと、信じ込んでほしいと思います。上世代が持っている経験や意見も大切ですが、自分たちの感覚で突っ走ってほしいですね。

またメディアの皆さんも、今の体制をどう変化させるのか、どうやってデジタルにシフトするのか、という部分はすごく苦しんでらっしゃると思います。だからこそメディアとの組みかたというのは非常に難しいですね。流れにとらわれず、新しい形の中からアイデアを送り出した方がいいのではないかと思います。

石井 ありがとうございます。若者らしい感性を信じて突っ走ってほしいと思います。では最後に岡山青年会議所メンバーに熱いお言葉をいただけますでしょうか。

中西 様々な枠組みや構造の変化が産業革命のように起ころうとしています。そこで形を変えていかなければ、ガラパゴスのようになり残されてしまいます。改めてになりますが自分の感覚を信じて、今の当たり前が当たり前ではないと思うことが大切なのではないかと思っています。



中西圭三

Keizo Nakanishi

91年デビュー。ZOOに提供したシングル「Choo Choo TRAIN」(03年にはEXILEにより再びヒット)がミリオンヒット。翌92年自らの楽曲「Woman」もヒット。この年同曲で日本レコード大賞作曲賞を受賞、並びに紅白歌合戦へ出場。98年にはピビアンズが在籍したブラックビスケッツに提供した「タイミング」がミリオンヒット。2020年秋、自主レーベル「TAO LIFE RECORDS」を設立、その第一弾シングルとして「流れ星/愛することを信じて~ Amazing Grace For You~」がリリースされた。



石井聖至

Kiyonari Ishii

昭和57年5月に、岡山市に生まれる。平成17年、大阪学院大学経済学部を卒業後、株式会社オカムラに入社。平成22年に株式会社石井事務機センター入社後、令和3年に専務取締役役に就任後、現在に至る。公益社団法人岡山青年会議所には平成25年に入会し、令和元年に組織未来室常任理事、令和2年にまちづくり室副理事長、令和3年に未来創造室副理事長を歴任。

中西 だから本当に、曲を書いたこともない人間の曲を、よく熱心に指導し続けてくれたなと思います。ZOOとの出会いもその頃で、91年のデビューが決まったことと呼応するかのよう、「Choo Choo TRAIN」を作ることになり、そこから状況が一変しました。

石井 そういう経緯がありましたので、そのデビュー当時から、音楽シーンは様変わりしたように感じますが、現在の音楽

シーンはどのように感じられますか？

中西 アナログレコーディングの時代から、デジタルに変化して、コンピュター上で音楽を作るようになってきました。また音楽の届けかた、という面でもiTunesが出てきて、産業革命のようにガラリと様相が変わりましたよ。時間も労力もかかった80年代後半のレコーディングはキラキラしていて、豪華だったんですけど、デジタルに感じます。だからといって今はチープなのか、というところも、それを凌駕していく新しい感覚はすごく刺激的だなと思っています。

石井 また今になって「Timing」が再び流行して、若い人から反響があるというのも、現代の音楽シーンらしいですね。

中西 海外でもそうなのですがアナログ音源が脚光を浴びたりして、レコードを探すようなムーブメントが起こったりしています。いわゆるシテイポップと言われているような80年代に流行した、ゴージャスで緻密な音楽が、今再発見されて聴かれています。このも、本当に素敵なことだなと思います。

石井 先ほど音楽の産業革命という言葉を使われていましたけど、ものすごい変化ですね。ありがとうございます。

でございます。

では東京をはじめ世界でも活躍されている中西圭三さんにとって、岡山はどのような地域に感じられているでしょうか。また新型コロナウイルスの影響によって、経済活動が鈍く、暗く重い雰囲気は今も残っています。地域の明るい未来を創るためのアイデアがありましたら教えてください。

中西 音楽業界でもサブスクリプションなど、経済の形が大きく変わりましたが、ドメスティックではもうどうしようもないということを感じます。間口を広く世界に発信していくためには、音楽の世界も成り立たないのではないかと考えています。韓国がそうだったように世界に飛び出していかなければならないかと思えますね。

一方でデジタルの恩恵によって、東京にいなければ発信できない、ということもなくなり、またミミティンも直接顔を合わせる必要がなく、オンラインに代わってきましたね。

だからこそランニングコストを抑えながら、ゆったりした気持ちで音楽制作をするためにどこに住まうのか、ということも考えられるようになってきました。

穏やかで災害が少ない岡山の魅力というのは、日本中の人々にとって価値が高いのではないかと思います。

石井 ありがとうございます。デジタルがここまで発展してきた中で、地方都市だから挑戦できないということが無くなったということですね。

中西 絶対にそうですね。世界に向かって発信していくという動きが、ますます加速していくと思います。

石井 ありがとうございます。また私たち岡山青年会議所は青年経済人の団体なのですが、芸能・メディアにとって青年経済人に

※この対談はマスク着用(写真撮影時以外)、手指消毒、検温チェック、ソーシャルディスタンスの確保等、安全面に最大限配慮したうえで行いました。

2022年度 監事・理事執行部 一年間の振り返り・報告



監事
井戸 啓太

本年度、石井理事長より公益社団法人岡山青年会議所監事のご指名をいただき、粉骨砕身の想いで務めさせていただきました。

石井理事長が掲げられます理念をメンバー全員が理解し前向きな想いをもって行動することが重要であったと考えます。コロナ禍中の混乱した昨今ではありますが、メンバー全員が挑戦し続けていくことで多くの事業を成功させることができました。

岡山青年会議所が希望をもたらす変革の起点となり、岡山市民の方々が故郷を愛し誇りを持てる明るい豊かな「岡山のまち」の礎を築くため、監事という俯瞰的な立場からその役割を全うできたと自負しております。

日本が新しい時代へと突入していく中、私たち岡山青年会議所も変化を恐れず挑戦することで新たなステージに一歩踏み込めたのではないのでしょうか。

結びになりますが、特別会員現役会員の皆様、関係各位の皆様方、一年間誠にありがとうございました。



まちづくり室 副理事長
安部 真良

本年度石井理事長のもと副理事長という大役を仰せつかり、まちづくり室の副理事長を務めさせていただきました。

岡山市は交通の利便性災害の少なさに加え、まちに多くの可能性を秘めた資源が存在します。しかしながら、その魅力に気付く機会は決して多くないのが現状です。まずは誰もが郷土の魅力を知ることが必要不可欠でありました。

本年度、岡山青年会議所は未だコロナ禍の中、若者らしい斬新な発想と圧倒的な行動力で多くの事業に挑戦することができました。

事業を通し、地域の宝である子供達の郷土愛を育み、多くの団体と共に未来に夢を描けることのできる活動を行うと同時に、我々の同世代からは共感を集めることができたことを確信しております。

最後になりますが、一年間支えていただきました皆様、関わった皆様に感謝を申し上げます。



専務理事
大森 将平

本年度、石井理事長より専務理事の大役を仰せつかり、理事長の側でしっかりとサポートできるよう、事業に対しても2022年度の不安定な情勢の中でどのような活動ができるか、社会の風潮が変化している中LOMの組織運営に努めて参りました。今までの守りの風潮から転換し、リスクを取って攻めの姿勢を貫いた石井理事長より、多くの学びをいただけたこと、感謝の念に堪えません。総務室としても、変化の著しい時代の中で活動指針を節目で発信させていただき、メンバーが皆の模範となるよう品格のある行動に努めて参りました。

本年度、支える立場でありながら、各室の理事委員長や総務室メンバーなど多くの方々に支えていただいたことに心より感謝いたしております。そして、一年間関係各所と特別会員の皆様に多大なるご協力を賜りましたこと、衷心より感謝申し上げます。

CHALLENGE!! OKAYAMA

2022 REPORT



2022年度 理事長 一年間の 振り返り・報告

2022年度の岡山青年会議所の活動、及び事業も無事に終了することができました。本年度は「CHALLENGE!! OKAYAMA」をスローガンに掲げ、打ちのめされることなく立ち上がり変化を怖れずに挑戦していく姿勢を持って、様々な事業を展開させていただきました。依然として新型コロナウイルスが猛威を振るう中で幾多の困難や壁を突き付けられましたが、知恵を絞り工夫を凝らすことでそれらを乗り越えることができました。その結果いずれの事業も成功裏に終えることができ、新たな活動モデルを構築することができたと確信しております。

3年ぶりの実地開催となった「うらじゃ」、そして市内各所で打ち上げたサプライズ花火事業、体験の格差の解消を目的とした「親子で瀬戸内クルーズ」、自然への感謝を持って道徳心の向上を目的とした「わくわくファーム2022」の事業など、Withコロナにおける新たな価値観と手法を考案して実現できたことで、今後の活動における道筋を示すことができました。新型コロナウイルスも第8波が到来しており予断を許さない状況ではありますが、それに屈することなく次年度以降も挑戦を続けていただくことを切に願います。

2023年から施行されるインボイス制度や電子帳簿保存法など、急激なDXの促進と対応が叫ばれる中、DXに対する学びの場を提供するため「DXセミナー」を計2回に分けて実施させていただきました。また昨今の情勢として多様性を受け入れる機運が高まる中、「LGBTQ」についての理解を深める目的で講師をお招きしてのセミナーも実施させていただいております。目まぐるしく変化する社会において時勢に追従していくことは困難を極めますが、岡山の経営者の皆様の社業の持続的な発展を援助すべく、我々岡山青年会議所も労を惜しむことなく日々の活動に取り組んでまいります。

最後になりますが、本年度ご協力いただいた行政各団体を始めとする関係各位、ご指導ご鞭撻をいただきました特別会員の皆様方、一年間我々の活動に対し多大なるご支援とご理解をいただきましたことを心より御礼申し上げます。2023年度も岡山のまちが輝くような発展を遂げることを祈念いたしまして本年度の活動報告とさせていただきます。

公益社団法人岡山青年会議所 2022年度 第72代理事長

石井聖至

DX事例紹介



お客様へ安心安全を提供するDX

建設工事には重機機械が欠かせません。しかし、現在の少子高齢化や人手不足の影響により熟練の技術者は減少しており、相対的に若手技術者の技術力低下が大きな課題となっています。

その課題を打破すべく岡山青年会議所メンバーの杉岡裕さんがお勤めの建設会社では、ICT(情報通信技術)施工を導入しています。ICT施工とは、GNSS(衛星測位システム)端末と各種センサーを搭載した重機機械に、ドローンなどを用いて測量した3Dデータから計算した設計値を設定することで、コンピュータがオペレータの補助をしてくれる施工方法です。

このシステムを導入することにより、経験の少ない技術者でも高い精度で作業することが可能となり、手元作業員の削減や設計との不整合が解消されるだけでなく、さらなる安全性の向上と作業員の負担軽減につながっています。

杉岡建設株式会社
岡山県新見市新見368-4



DXセミナーレポート



これからの企業成長に欠かせない「DX」について学べる機会!

2022年11月9日(水) / 社の街グレース オフィスクエア 会議室3階



11月9日18時 グレースタワー会議室にて「第二回DXセミナー これからの企業成長に欠かせない「DX」について学べる機会!」が開催されました。

DX=デジタルトランスフォーメーション。進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念のことで。当日は100人を超える熱意溢れる受講者にお越しいただき、大変に盛況な会となりました。

第一部では岡山市よりDXの説明と岡山市の取り組み、岡山市の補助金制度をご説明いただきました。岡山市としても独自の補助金を制定するなど、DXを推進しています。

第二部では税理士法人CUBE武信準人代表よりDX事例を紹介いただきました。自社でも取り組むことができ、効果的な事例をお話いただきました。

第三部では株式会社WORK SMILE LABOの石井聖博代表取締役様を講師にお勤めいただきました。日本の企業としてDXに取り組むべき姿勢、あるいは取り組まない場合の危険性をご講演いただきました。また、取り組みに際したコツ、考え方もご教示いただきました。

本セミナーを通してDXのメリット・課題を知り、自社の利益とされることをご祈念しております。ご来場いただきました講師の皆様、受講いただいた皆様大変ありがとうございました。



DXの活用により営業を効率化。お客様の負担軽減に取り組んでいます。

会社のHPとは別に、オンラインオフィス専用のHPを構築し、お客様との面談や当社スタッフとの打合せ・在宅勤務に役立てています。

専用のHPを作成することにより、オンラインでのやりとりを行う際に多いアカウントの登録やアプリのダウンロードなど、お客様の負担となる要素を減らすことができます。

オンラインオフィスHPを活用した面談や打合せは場所を選びません。業務の効率化においては、出張なども必要なく大幅な時間とコストの削減につながります。県外のお客様とも気軽にやりとりができるため、つながりの幅も増えます。

追加の運用コストも月額3万円がかかるだけで、スタッフも他の業務に時間を使うことができるようになったと喜んでます。



すべての人々の現在と未来に貢献し続ける

株式会社アラタス
ARA+ONLINE
岡山市北区富田346-5
ツアンガーデンB-103



03

市民公開例会

「首都岡山 東京首都一極集中の打開策」

開催日:2022年10月12日(水)
開催場所:イオンモール岡山5階 おかやま未来ホール

公益社団法人岡山青年会議所 市民公開例会 高嶋哲夫氏講演会「首都岡山 東京一極集中の打開策」を開催させていただきました。
高嶋氏より非常に貴重なお話を聞かせていただきました。土地や気候などの環境条件が良く、他県よりも天災が少ない岡山を将来的に日本の中心地となる様岡山市民全体で盛り上げていくことを目指す、いい機会となりました。
その後、高嶋氏、平林先輩、石井理事長を交えて様々な角度から今後の岡山の発展に向けて熱いディスカッションをさせていただきました。
お忙しい中ご講演にご参加いただいた皆様、講演の準備にご協力いただいた皆様本当にありがとうございました。



04

親子で体験して学ぶ

わくわくファーム2022

開催日: 2022年10月30日(日)

わくわくファーム2022は岡山市内の小学生を対象として、「自然に感謝する」気持ちを育む体験型学習を全3回行いました。
6月にはお米の田植え体験とどろんご遊び。7月末には夏野菜の収穫体験を。そして10月末にはみんなで植えたお米の収穫体験と、そのお米で握ったおにぎりを食べてもらいました。
84家族、小学生113名の参加者に対して、親子で楽しく自然と触れ合い、笑顔あふれる学べる機会を提供できました。
この事業を通して、日本人が古来より培ってきた「自然に感謝する」気持ちを、次世代を担う子どもたちに伝えたいという想い、そして親子が共に学ぶ機会をつくることで、家族の絆や道徳観形成の手助けとなるよう祈っています。
ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました!



05

岡山のまちを一望しながら「整う」特別な一日

まちなか屋上サウナ

開催日:2022年11月5日(土)6日(日) 開催場所:岡山高島屋屋上

コロナ禍の影響でまちの活力が失われつつある昨今。みなさんに元気になってもらいたいという思いでまちなか屋上サウナを開催いたしました。
中四国では初となる街中の屋上を貸し切ったサウナ事業。若者ならではの斬新な発想で事業を開催させていただきました。当日はたくさんのお客様にご来場いただき、街中の屋外という非日常で「ととのう」を体験していただきました。この事業をきっかけとしてまちが主導で様々な事をしていき、今後の地域の発展を心より願っております!

ACTIVITY REPORT

2022年度活動報告

01

わくわく!宇宙体験!

キッズスペースパーク

開催日:2022年10月1日(土)
開催場所:岡山理科大学

10月1日(土)、岡山理科大学にてキッズスペースパークを開催しました。キッズスペースパークは小学生、中学生を対象として、宇宙について学んでもらう企画です。
小惑星探査機はやぶさのミッションマネージャ吉川先生によるご講演や、JAXA職員の宮里氏のご講演、ロケット発射体験、小山宙哉作「宇宙兄弟」原画展、プラネタリウム、などたくさんのイベントを開催。
万全のコロナ感染対策の中、小中学生およそ300名、その保護者の方およそ150名、総勢450名と、多くの来場者で賑わいました。
岡山青年会議所は今後もこども達の興味を駆り立てる学びの場を提供し続けていきます。



02

多様性への理解を深めて、みんなが過ごしやすいまちに

LGBTQセミナー

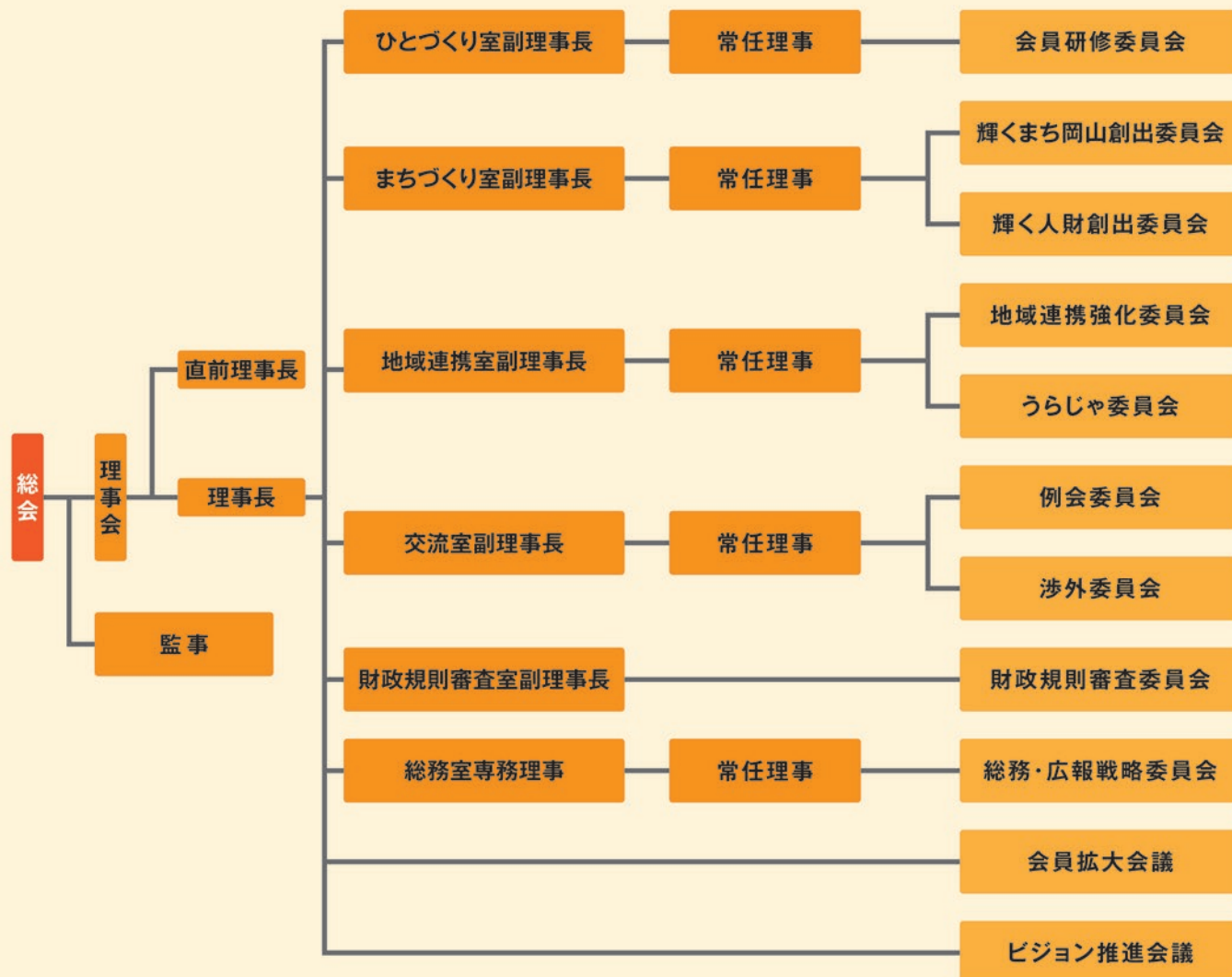
開催日:2022年10月11日(火)
開催場所:山陽新聞さん太ホール

山陽新聞さん太ホールにてLGBTQセミナーを開催しました。第二回目となる本セミナーには杉山文野さんを講師にお迎えし、経営者や企業に向けてLGBTQのお話をさせていただきました。
杉山さんの体験談を交えてのお話は非常に壮絶であり、性の多様化を実現するための社会の課題に気づかせて下さいました。
後半はトークセッションを行い、LGBTQ当事者と経営者とのギャップを擦り合わせる事ができました。
LGBTQへの理解が正しく深まった、そのような会であったと思います。デリケートな話題だからこそタブー視せず、これからも社会の課題を解決するよう心がけていきます。本セミナーにご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



公益社団法人岡山青年会議所

2023年度組織図



JCI Junior Chamber International OKAYAMA



homepage address

<https://www.okjc.org>



facebook

<https://www.facebook.com/okjc.org>

岡山JCではホームページでも情報を発信しております。事業や運動のご報告など随時更新しております。お気軽にホームページをご覧ください。

岡山青年会議所

検索



次号は1月発行予定です。

発行日 令和4年12月
発行 公益社団法人岡山青年会議所
〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目1番15 岡山商工会議所ビル6階
TEL 086-223-0938 FAX 086-225-0500 email info@jci-okayama.com
発行責任者 公益社団法人岡山青年会議所
総務・広報委員会
委員長:大塚 真弘
綾部 系一・久保 和裕・服部 悟
川口 修司・岡田 有造・岸本 啓吾・杉岡 裕・坂本 雅樹・井上 玉丹穂